

# ひがしそのぎ

HIGASHI SONOGI

平成24年

9 September  
NO.540



## 食に感謝!!

「いただきます、ごちそうさま!!」の感謝の気持ちを  
忘れずに!!【P7 関連記事】



【8/19 定例ワークショップの様子、ダッチオーブンで丸鶏を焼いて食べました。】

## 子どもたちや親、大人に対して、 本物の“あそび”を提供します。

少年山荘は、モノづくり、食育、野外活動などの「体験型講座」を企画し、子どもたちやその親、一般の大人の方を対象に『本物のあそび』を提供されています。

“あそび”の方法、手段を知り、さまざまな体験をすることで、少々の事には動じることなく、強く生きていく『ちから』を育んでいくそうです。

少年山荘では、他ではなかなか経験できない「楽しい事業」が展開されています。

ぜひ、何かのきっかけをつかむ場として、利用されてみてはいかがでしょうか。

## ～少年山荘～



## NPO法人として再スタート

少年山荘では、過去30年間、子どもたちを対象に、木のおもちゃの製作や工作などのワークショップを行ってこられました。

長年の活動のなかで、さまざまな問題に直面し、“あそび”の重要性を再認識され、「体験」を通して得られる「ちから」の必要性を感じてこられたそうです。

さまざまな“あそび”の提供、“あそびの場”の提供をすることで、子どもたちがより健やかにたくましく成長していく手助けになればと、間もなくNPO法人「少年山荘」として再スタートされます。

## 少年山荘、その活動は・・・

活動の中心となるものが木工部門で、ドールハウスをはじめとする木製のおもちゃづくりから、ツリーハウスなどの大型遊具、保育施設内の備品などの製作をされています。

一方、子どもたちと直接関わる活動として、「木工教室」や「キャンプなどの野外活動」を九州各地で展開されています。

近年では、食育の指導の機会も増え、子どもたちとピザを焼いたり、ソーセージを作ったりもされているそうです。

## 少年山荘は5名のスタッフで 運営されています。



## 町の空き家バンクを活用 して、東彼杵町へ移住！！

野上慶祐さんと古川慎悟さんは、山田孟さんの同級生。縁があり、今年の4月から少年山荘のメンバーとして一緒に活動されています。

2人とも少年山荘全般の活動に関わりながら、野上さんは保育園などのウェブ製作に力を発揮され、古川さんは教育学部で子どもたちと触れ合った経験を活かして、保育園でサッカーの指導などをされています。

2人ともに佐世保市出身。今年の4月、町の空き家バンクを活用して、孟さんと3人で平似田地区の1軒家で共同生活をされています。

## ～スタッフ紹介～

山田 祐さん (左から2番目)

山田 恭子さん (写真中央)

山田 孟さん (右から2番目)

野上 慶祐さん (写真左端)

古川 慎悟さん (写真右端)



## さまざまな活動をされています。

### 工作教室

- 『ゴムで走る自動車』
- 『Tシャツのステンシル』
- 『ゴムで走る船』
- 『紙相撲』
- 『ゴムで飛ばす飛行機』
- 『シルエットアート』
- 『的当てゴム鉄砲』
- 『巣箱』
- 『木登り人形』
- 『クリスマスリース』
- 『万華鏡と凧』
- 『集団製作』

### 食育活動

- 『手作りソーセージ』
- 『カップケーキ』
- 『水餃子』
- 『ダッチオーブンで焼くピザ』
- 『その他ダッチオーブンを使った料理』
- 『野外カレーづくり』

### 他にも・・・

キャンプ場や里山の条件に沿った活動プログラムを立案、企画し、簡単な調理や工作を取り入れた活動や、サッカー教室、さまざまなイベントも行われていて、利用者、利用団体の要望や意見に沿った活動をされています。

**8月19日（日）いこいの広場において、毎月行われている大人の方を対象としたワークショップが行われました。**



▲ネイチャーゲーム～北の方角はどっち？～

この日は、ダッチオーブンを使って丸鶏を焼いて食べました。焼いている時間を使ってネイチャーゲームも行われ、楽しく有意義な時間を過ごされていました。



▲丸鶏の下ごしらえ  
～おいしくできるかな～

▼ネイチャーゲーム～木の高さは？～



～活動の様子（一部紹介します）～

## どのような方が利用できますか？

### 1. 小学校未満の子どもたち

- 公立保育所
- 私立保育所
- 認可外保育所
- 公立幼稚園
- 私立幼稚園
- 認定こども園
- 地域子育て支援拠点

### 2. 小学生

- 放課後児童クラブ
- 各市町村に居住する小学生（公募）
- 地域団体
- 子ども会

### 3. 保育士や教職員

- 長崎県の各保育会
- 佐賀県の各保育会
- 長崎県内の教職員

### 4. 大学生、短大生

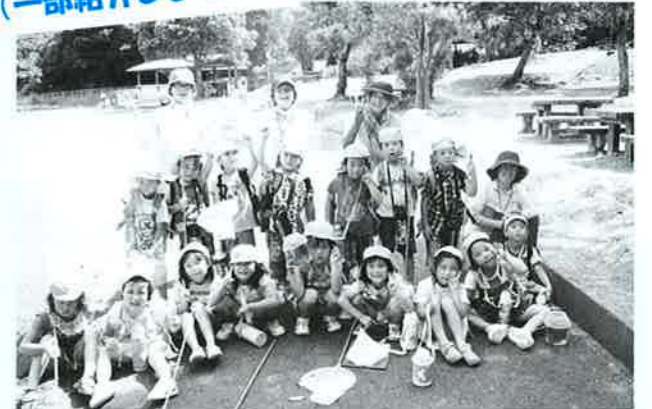
- 長崎県内の教育関係の学生
- 長崎県内の社会貢献、NPO に関することを学ぶ学生

### 5. 大人、地域住民

- 個人事業で行ってきたアウトドアイベントに参加していた方々
- 長崎県、佐賀県、福岡県を主とした野外活動に興味関心を持つ大人
- 東彼杵郡近辺に住む親子、若者
- 1、小学生未満の子どもたち  
2、小学生の保護者

### 6. 民間企業

- 長崎県、佐賀県、福岡県の福利厚生や社員育成を行っている企業



▲野外活動：デイキャンプ（やまだ保育園）



▲食育活動：手作りソーセージ



▲工作教室：紙相撲



▲野外活動





## 夏、納涼花火大会

東彼商工会（東彼杵支所）主催による「第43回東彼杵町納涼花火大会」が8月16日、彼杵新港埋立地で行われました。

会場内は、花火が打ち上がるまでの間よさこいや盆踊り、ものまねショーなどが行われ、花火大会を盛り上げていました。

いざ、色鮮やかな打ち上げ花火が上がると、「きれい」といった声が至る所から聞こえ、観客を魅了していました。

大盛況で終えた今年の花火大会、来年もぜひ素敵な思い出づくりにお越しください。



## そのぎ茶で健康づくり



町食生活改善推進員実践講座が8月7日、町総合会館で行われました。

食改では「地産地消で健康づくり」を目標に、そのぎ茶に目線をおいて活動されています。

この日は、若みどり会女性部のみなさんと一緒にそのぎ茶を使った調理実習が行われました。交流を深めながら楽しく調理されていました。

～そのぎ茶御膳～

そのぎ茶ごはん、そのぎ茶白和え、そのぎ茶の佃煮、りんかけ大豆、そのぎ茶の豆乳葛餅風プリン

## 町戦没者追悼式

東彼杵町戦没者追悼式が8月4日、町総合会館でしめやかに執り行われ、戦没者の遺族や来賓など約180名が参列しました。

彼杵中学校3年の佐藤将太さんは「日本という一つの国として世界に平和を唱えましょう。」、田尻朱里さんは「今ある平和な生活に感謝しながら生きていきたいです。」と平和の誓いを述べました。悲惨な戦争を二度と繰り返すことがないように、世界が平和であるようにと願います。



## 上手に料理作れたよ ～子どもクッキング教室～



子どもクッキング教室が8月23日、町総合会館で行われました。

料理を作って食べる経験をきっかけに、料理への興味や食事の大切さを考えてもらおうと開催され、20名の児童が参加しました。

この日の講師は、町食改推進員のみなさん。慣れない手つきの子どもたちを見て優しく包丁の使い方や食材の切り方などを教えていました。

参加した児童たちからは「この野菜ほくが切ったんだよ」、「上手に炒めることができた」などと話をしてくれました。

## 縫い物教わりました

学童保育にこにこはうすの子どもたちが8月20日、22日、彼杵婦人会のみなさんに巾着袋やお手玉などの裁縫を教わりながら、交流を深めました。

『日ごろからお世話になっている地域の方々とは触れ合うことで子どもたちを育てたい』という趣旨のもと、今回にこにこはうすが彼杵婦人会へ依頼されました。

婦人会のみなさんと楽しくお喋りしながら作っていた子どもたち。作った巾着袋やお手玉を自慢げに見せてくれました。



## 夏の伝統行事「精霊流し」



初盆を迎えた故人の霊を船に乗せ、西方浄土へ送る夏の伝統行事「精霊流し」が8月15日夜、町内各地で行われました。

精霊流しの由来は諸説あるようですが、中国の彩舟流し（さいしゅうながし）の影響が色濃く出ているものと考えられています。

爆竹の音や火薬のにおいに包まれる中、家族や友人らが故人への思いをのせ、精霊船を引きました。沿道では参加者たちが小さな光に手を合わせ、故人をしのんでいました。

(写真は西宿地区の精霊流しの様子です。)

